

第5章 計画の推進

5-1 市民等と行政による協働のまちづくり

本市における今後のまちづくりは、都市計画マスタープランの方針に基づき、持続可能で、誰もが安心して暮らせる都市の実現に向けて進めていく必要がある。

人口減少・少子高齢化が進む中で、地域ごとの実情に応じた多様なまちづくりが求められており、広大な市域を有する本市において、行政のみでそのすべてに対応することは困難である。また、近年は自然災害や気候変動への備え、地域コミュニティの再構築、デジタル技術の活用など、多様で複雑な課題への対応も求められている。

こうした状況を踏まえ、市民、市民団体、地域活動団体、事業者、教育機関など、地域社会を構成する多様な主体が、まちづくりの担い手として相互に理解を深め、連携しながら取り組んでいく「協働のまちづくり」がこれまで以上に重要となる。

加えて、観光や地域イベント、文化活動などを通じて一時的に本市を訪れる交流人口との関わりを広げ、地域の魅力発信や活性化に生かしていくことも重要である。

行政は、地域の声に耳を傾けながら、市民等と役割分担と連携を図り、市民や交流・関係人口がそれぞれの立場から参画できる持続可能かつ強靱で、誰もが参画できる都市づくりを進めることが求められる。

5-2 計画推進のための取組

(1)まちづくりの情報共有

まちづくりに関する情報の共有と発信をより一層強化するため、市ホームページや「広報まつさか」など既存媒体に加え、SNS の活用など、デジタル技術を用いた多様な情報発信手段を取り入れる。

あわせて、誰もがわかりやすく、アクセスしやすい情報提供を行い、市民の理解と参加意識の向上を図る。

また、市民だけでなく、本市を訪れる交流人口や将来的な関係人口候補にも届く発信を意識し、都市の魅力や地域活動の情報を効果的に広く発信する。

(2)市民等の主体的なまちづくりへの支援

人口減少・高齢化が進む中、地域課題の解決には地域の自主的な取組が不可欠である。地域の特性や強みを生かしながら、多世代が参加し、継続的に活動できる体制づくりが重要となる。

そのため、地域での自助・共助が促進されるよう、自主的な地域活動や市民団体によるまちづくりを支援する制度や環境を整備し、活動の担い手の発掘・育成、地域コミュニティの活性化を図る。

また、若者や女性、子育て世代、外国人住民など、多様な市民が参画できる機会を創出し、

包摂的なまちづくりを進める。

さらに、地域外から参加する交流人口や、二地域居住者などが地域活動に関わる仕組みを整備し、外部の視点や人材を活かした新しいまちづくりを推進する。

(3) 効率的かつ効果的な事業の推進

限られた財源・人材の中で、都市づくりの実効性を高めるため、地域ニーズや社会課題に即した事業の「選択と集中」を推進する。

都市インフラの老朽化対策、災害に強いまちづくりなど、喫緊の課題に対しては、優先順位を明確にし、着実に取り組む。

また、民間活力の活用(PPP/PFI)や、国・県の補助金・交付金制度の活用を積極的に図り、効果的な財源確保に努める。

(4) 関係機関等との連携や新しい制度の適切な運用

広域的な視点をもって課題に対応するため、三重県をはじめとする関係機関や周辺自治体との連携を強化し、情報共有・役割分担の明確化を図る。

また、新たな制度や技術に対しては、市の実情に応じた柔軟な対応と積極的な活用を行う。

国・県の制度改正等に迅速に対応できる体制を整え、地域課題の解決に向けた戦略的な政策立案・実行力の強化に努める。

さらに、観光圏や広域連携による交流人口の創出・拡大を意識し、近隣市町との連携イベントや周遊ルートづくりなどを通じて、地域全体の魅力発信を強化する。

(5) 関係人口の創出

地域外の人々とのつながりを育み、多様な形で本市とかがかわる交流人口・関係人口の創出・拡大を図る。

具体的には、観光や地域イベント、農林水産業体験、地域資源を活かしたワーケーション、ふるさと納税などを通じて、本市への関心や愛着を高める取組を推進する。

また、都市部在住者や本市出身者、企業、大学などとの継続的な交流・協働の仕組みを整備し、地域課題の解決や新たな地域価値の創出につなげる。

5-3 計画の進行管理と見直し

本計画は、2045(令和27)年を目標年次、2035(令和17)年を計画年次とした計画であるが、計画期間内において、関連する法制度が改正された場合、社会情勢等に大きな変化がみられた場合、総合計画や各種行政計画等の見直しと整合を図る必要が生じた場合などにおいて、必要に応じて本計画の見直しを行う。

このため、PLAN(計画)、DO(実行)、CHECK(評価・分析)、ACTION(改善)のPDCAサイクルの仕組みにより適切な進行管理を行う。

